

お知らせ

被災者支援チーム SAVE IWATE

岩手県盛岡市に民間の被災者支援チーム「SAVE IWATE」が立ち上がりました。盛岡市鉾屋町にある旧番屋を拠点にし、被災地の実情についての調査、支援物資の募集・運搬、ボランティア活動希望者の受け入れ・仲介・派遣等の様々な活動を行っています。詳しくは <http://svi.wate.wordpress.com/> をご覧ください。

■問合せ SAVE IWATE スタッフ専用携帯電話 ☎ 080-6006-9201

東日本大震災による被災者の皆様へ 未払賃金立替払制度の ご案内

お勤めになっていた企業（中小企業に限ります）が地震によって被害を受けたなどにより、倒産状態にいたった場合に、国が企業に代わって、未払賃金額の一部を立替払する制度が利用できます。

立替払を受けるには、次の手順が必要です。

- ①倒産状態の認定申請
- ②未払賃金額等の確認申請
- ③立替払金の請求

●制度の詳しい内容や①～③の手続きについては、最寄りの労働局または労働基準監督署にお問い合わせください。

■問合せ 大曲労働基準監督署
☎ 0187-63-5151

多重債務相談窓口のご案内

東北財務局秋田財務事務所では、者金を抱えお悩みの方々からの相談に応じています。お気軽にご相談ください。

■相談窓口 財務省 東北財務局
秋田財務事務所 理財課
☎ 018-862-4196

■受付時間 月～金曜日（祝日、年末年始除く） 8：30 から 17：15

震災復興支援チャリティー コンサート

- 日時 5月1日（日） 14：00 開演
- 会場 遊学舎（秋田市上北手荒巻字塚切 24-2）
- 【指揮】京野直行
- 【コンサートマスター】北嶋奏子
- 楽器体験コーナー：管楽器から弦楽器まで
- 問合せ 伊藤 ☎ 018-823-1192
京野 ☎ 018-846-8522

角館南高等学校「保護者のつどい」 天地人コンサート

「天地人」津軽三味線&打楽器ユニット

- 秋田県出身「オフコース」ドラマー 大間ジロー氏
- 大館曲げわっぱ太鼓奏者 大沢しのぶ氏
- 津軽三味線奏者 黒澤博幸氏
- 日時 4月23日（土）開場 10：00
開演 10：30 終了 11：30（予定）
- 会場 角館南高等学校（料金無料）
- 問合せ 角館南高等学校総務部
☎ 54-1166

会場で、角館南高校バレー部と交流のある、東日本大震災で被災した陸前高田市の高田高等学校への義援金の受付を行います。

むらっこ物産館 「ばっきゃ祭り」

むらっこ物産館では、毎月「旬の味覚祭り」を開催し、旬の食材をメインにしたメニュー等を販売します。

今回は、「ばっきゃ」のコロッケ・天ぷら・味噌など、ばっきゃに関する料理を用意し、1鉢100円で提供します。

その他、新鮮な山菜や農家手作りの品々がずらりと揃っています。

- 日時 4月17日（日）
11：00～15：00
- 問合せ むらっこ物産館
☎ 47-2205

イベント

樺細工で生まれ変わった 奇跡のピアノコンサート2011 ～かくのだて さくらの季節に～

- 開催日 4月23日（土）～5月1日（日）
※4月25日（月）、28日（木）除く
- 時間 ①11：00～ ②13：30～
- 会場 角館町平福記念美術館
コンサートのみの方は無料。美術館へは入館料が必要です。（仙北市民は無料）
- 問合せ Otoを楽しむ会
安藤 ☎ 090-2989-2918
倉持 ☎ 090-5233-6127

「紙のメルヘン&ファンタ ジー展」 Atelier はなた

日常から心を解き放すメルヘン&ファンタジーな紙の造形作品（オブジェ・灯り・教室の課題 etc）を展示します。

- 日時 4月23日（土）～30日（土）
9：00～16：30（30日は14：30まで）
- 会場 角館町平福記念美術館カルチャールーム
- 問合せ 花田恵 ☎ 43-1770
<http://www.hanahana-koubou.sunnyday.jp>

細川良治日本画展

展示作品数：60点（企画展示室18点、ふれあいギャラリー・ふれあいサロン42点）

- 期間 4月17日（日）～5月31日（火）
- 会場 角館町平福記念美術館
- 問合せ 平福記念美術館
☎ 54-3888

【お知らせ】

上記の3イベントで、東日本大震災被災地への義援金を受け付けています。皆様のご協力をお願いします。

角館公民館 茶道教室のお知らせ

今年度から裏千家・羽根川宗伸先生が担当になります。畳の歩き方や襖の開閉など基本的なことから行います。袱紗（ふくさ）などはある方のみご持参ください。

お稽古は基本的に第1・3金曜日の午後1時30分から旧石黒（恵）家で行います。ただし、5月は連休がありますので、お稽古は5月13日、27日の金曜日になります。

お申し込みは5月2日（月）まで、角館公民館（☎ 54-1110）へお願いします。

特別養護老人ホームたざわこ清眺苑移転のお知らせ

特別養護老人ホームたざわこ清眺苑が、下高野地区から田沢湖畔の春山地区へ移転しました。

【新住所】田沢湖田沢字春山148-2

☎ 43-9001 FAX 43-9003

留学生交流プログラム あきたのファミリー募集

（財）秋田県国際交流協会では、県内で学ぶ留学生と自由に交流できるプログラム「あきたのファミリー」に参加してもらえる家庭を募集しています。

お申し込みは5月20日（金）までに、下記へお願いします。

■問合せ （財）秋田県国際交流協会
☎ 018-893-5499

<http://www.aiahome.or.jp>

仙北平野土地改良区からの お知らせ

土地改良区の農業用水は、5月上旬の代かき期より、水量が多く、流れも非常に速くなることから、水の事故についてこれまで以上の注意が必要となります。水難事故を防止するため、農業用水路および頭首工（河川をせき止めてる施設）・河川からの取水口等危険箇所への立ち入りは禁止です。ご注意ください

■受講料 無料（ただし、教材代として10,000円程度が別途必要）

■訓練手当 雇用保険非受給者のうち、一定の要件を満たしている主たる生計者に対し訓練期間中の生活保障として、訓練・生活支援給付金が支給されます。

【単身者】月額10万円

【扶養家族を有する者】月額12万円

■申込締切 5月6日（金）

■申込方法 住所または居所を管轄しているハローワークへお申し込みください。

■問合せ・訓練場所 大曲地域職業訓練センター（大仙市大曲田町3-1）

☎ 0187-62-1726

お勤めの方を対象とするスキルアップセミナー

【第二種電気工事士筆記試験準備講習】

■定員 20人

■期日 5月10日、11日、17日、18日

【エクセル初級コース（中高年コース）】

■定員 10人

■期日 5月12日、13日

【ホームページ作成講習（HTML & CSS編）】

■期日 5月17日、18日

【NC旋盤講習（加工作業）・新人対象講習】

■期日 5月18日、19日

【各講習共通】

■時間 9:00～17:00

■場所 大曲技術専門学校

■受講資格 現在お勤めしている方

■受講料 無料（テキスト代自己負担）

■問合せ 大曲技術専門学校 民間訓練支援室 ☎ 018-62-6321

生ごみ処理機購入費補助制度の廃止のお知らせ

平成23年度から生ごみ処理機購入費の補助制度がなくなります。

ご理解をよろしくお願いします。

■問合せ 仙北市環境保全センター
☎ 54-3305

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、国家公務員採用Ⅲ種試験（高校卒業程度）を実施します。

受付は6月21日（火）から6月28日（火）まで（受付最終日の通信日付印有効）で、第1次試験は9月4日（日）に行います。

なお、申込用紙の請求や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページまたは下記にお問い合わせください。

■問合せ 人事院東北事務局第二課試験係 ☎ 022-221-2022

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

秋田県合同就職面接会 開催のお知らせ

平成24年3月に大学、短大、高専、専修学校等を卒業予定の学生を対象に、「秋田県合同就職面接会」を開催します。

県内企業採用担当者の個別面談、ハローワーク職員による就職相談等を行います。

県内就職を希望する学生の皆さん、ぜひご参加ください。

入退場自由、入場無料、事前の申し込み等の必要もありませんので、当日直接会場へお越しください。

■開催日時 5月9日（月）

13:00～17:00 受付：正午～

■会場 秋田ビューホテル

（秋田市中通2-6-1）

■問合せ 秋田県産業労働部雇用労働政策課 Aターン・若年者支援班

☎ 018-860-2335

基金訓練受講生の募集

大曲仙北職業訓練協会では、雇用保険を受給できない求職者のための再就職支援事業として、次のとおり職業訓練を開催します。

■訓練科目 基礎から始めるビジネスパソコン科

■訓練期間 6月2日～8月31日

3カ月間（土日、祝日、8月12日～8月15日を除く）

主な業務と見積基準額（1日 8:30～16:30 実働7時間 ※最低2時間より）

仕事の内容		1時間あたり	備考
専門技術群	一般経理事務	800円～	
	運転業務（普通自動車）	800円～	
事務整理群	一般事務	700円～	
	賞状部分書き	100円～	1カ所
	賞状全部書き	2,000円～	1枚あたり
	毛筆宛名書き	40円～	
	硬筆宛名書き	20円～	
管理群	建物管理	5,200円～	1回あたり
	駐車場管理	750円～	
	駐輪場管理	650円～	
折衝・外交群	検針	74円～	1件あたり
	集金	800円～	
	配達・チラシ配布	30円～	1枚あたり
技能群	大工、左官、板金、剪定	1,200円～	
	障子張り（180cm）	660円～	材料費別途
	襖張り（1面）	1,400円～	
	網戸張り（180cm）	800円～	
単純作業群	屋内外清掃作業	750円～	薬品代、燃料代、
	草むしり、畑作業	800円～	ごみ処分料、車
	草刈り（機械刈り）	920円～	両使用料を別途
	農作業（田んぼ仕事など）	920円～	負担していただ
	冬囲いおよび解体撤去	920円～	く場合があります。
	除雪	1,000円～	
	雪下ろし	1,400円～	
サービス群	家事援助（炊事、買物など）	760円～	依頼者宅での作
	育児支援（子守りなど）	760円～	業となります。
	販売補助	700円～	

※上記金額に事務費7%を上乗せした金額が請求額になります。

シルバー人材センターのご案内

シルバー人材センターは、高齢者にふさわしい仕事を、家庭、企業、公共団体等から引き受け、会員に提供する秋田県知事認可の公益法人です。

仕事のご依頼（発注）は、お電話でも簡単にお申し込みになれます。

仕事は下見や打ち合わせを行い、お客様が納得の上でお引き受けし、責任を持った仕事をします。

■問合せ（社）仙北市シルバー人材センター ☎ 55-1646



秋田県育英会 奨学生募集のお知らせ

秋田県育英会では、平成23年度の奨学生を募集します。

■申込期間 5月6日（金）～5月27日（金）

■募集人数 30人

■貸与月額 50,000円

■貸与期間 本人の在学する大学（短大）の正規の最短就学年限。

■貸与方法 隔月に2カ月ずつ秋田銀行の奨学生本人名義の預金口座へ振り込みます。

■返還期間 上記貸与期間の3倍の期間内とします。（無利息）

※応募資格、提出書類等は下記へお問い合わせください。

■問合せ 財団法人 秋田県育英会 ☎ 018-867-2311（応募に関する問い合わせ専用、5月6日～24日、平日9:00～17:00）

【シリーズ⑥】

住民参加型スポーツイベント

チャレンジデー

参加方法はとっても簡単です・・・

住民の方はとにかく15分間軽運動をしてください。仙北市内であれば場所はどこでもOKです。

下記のいずれかのお方法でお知らせください。

- ①全戸配布する参加票へ必要事項を記載し、チャレンジデー事務局か各集計センターへ直接持参いただく。
- ②全戸配布する参加票を、仙北市内にある郵便ポストへ投函していただく。
- ③電話・FAX・メールで、チャレンジデー事務局・集計センターへ連絡していただく。

以上で、住民の皆様の参加が確定します。

■問合せ 仙北市教育委員会
スポーツ振興課 ☎ 43-3381

◆チャレンジデーについて、仙北市ホームページでも紹介しています。

<http://www.city.semboku.akita.jp/event/event.php?id=283>



大仙仙北地区障害者スポーツ教室開催のお知らせ

- 日時 5月8日(日)
10:00～11:30
- 会場 大崎市大曲体育館
(大崎市大曲花園町1-1)
- 実施種目 卓球バレー、フライングディスク
- 対象者 大仙仙北地区在住の身体・知的・精神障がい者(在宅者)
※詳しくは、下記へお問い合わせください。
- 問合せ 秋田県障害者スポーツ協会
☎018-864-2750

障害者スポーツを楽しむ日開催のお知らせ

- 日時 毎月第2、第4木曜日
18:00～20:00
- 会場
第2:秋田県心身障害者総合福祉センター体育館
第4:秋田県勤労身体障害者スポーツセンター体育館
※11月24日は施設の都合により心身障害者総合福祉センター体育館で開催します。
- 内容 障がい者を対象に体育館の無料開放や競技用具の無料貸出を行い、障害者スポーツ推進員と共にいろいろなスポーツを楽しみます。
- 問合せ 秋田県障害者スポーツ協会
☎018-864-2750

第9回秋田県障害者スポーツ大会開催

- 期日 9月3日(土)、17日(土)
- 種目 陸上競技、水泳、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、ボウリング、フライングディスク、バレーボール
- 申込方法 5月2日(月)から、市町村の障がい福祉担当課で、要綱や申込関係書類の配布を開始します。また、同日に当協会ホームページにもアップロードします。
- 申込締切 6月10日(金)
- 問合せ 秋田県障害者スポーツ協会
☎018-864-2750

東日本大震災に思う

苛烈な寒さと記録的な豪雪をもたらした冬が終わりを告げ、例年よりかなり遅れて春の息吹が感じられるようになり、北国の人達がほっと一息ついたであろうその頃、あたかも人知の未熟さをあざ笑うかのように、そして、現代社会の消費文明を戒めるように、あまりにも長い時間の揺れと、それに対して人類が蓄積してきた備えをはるかに超える津波が東日本を襲いました。その後、追い討ちをかけるような原発事故の発生により、被害は広範囲かつ多岐にわたりました。海辺に暮らす人々に恵みをもたらしてきた海が、

突然凶器と化した不条理を思うと、その人達の無念さは察するに余りあります。福島第一原発周辺に暮らす人達も然りです。今回被災された多くの方々には、心よりお見舞い申し上げます。

平成23年は東日本大震災一色に塗りつぶされ、日本史上に残るそして日本人の心に永遠に刻まれる1年になるに違いありません。あの日から連日、既存の国内メディアは、リアルタイムの映像や繰り返しされる録画映像により、被害の甚大さや深刻さ、さらには被災者の悲痛と苦悩の表情を詳細に伝えていますが、一方

海外のメディアは、劣悪な環境にあっても救済物資の供給が遅滞していても、慨嘆することなく、不平不満さえ口にせず、秩序を保ちつつ淡々と行動する被災者の姿に感銘を受け、それを日本人の美德ととらえ、称賛しながら被災地の状況を報道していると聞きます。

震災の翌日に見た、82〜83歳の男性が倒壊した自宅から救助された直後、笑顔で「さあ、また再建しましょう。私は千葉県津波の災害を経験していませんから」と語っていたテレビ映像を忘れられません。絶望の淵から遣い上がる際の日本人の象徴的な姿のように思えました。危機に遭遇し失意の底に沈んでも泰然としつ

つ、前を向く日本人。これまでもその遺伝子を持ち続ける私達は、関東大震災、第2次世界大戦での敗戦、阪神淡路大震災と幾多の危機を乗り越えてきました。この度の震災は、日本人の底力を試す、あるいは、日本国の潜在力を引き出すために天が与えた試練、天与の試練のようにも思えてなりません。

震災直後、これまで潜在していた日本経済の諸問題やひずみが一気に顕在化しました。東京電力の計画停電の実施という事実から、実は震災前から逼迫していたのでは?と想像される電力需給、情報通信網の脆弱さ、企業のリスク分散の在り方、等々。バブル崩壊後、失われた10年という言

葉がよく使われましたが、あれから10年経っても日本経済は停滞し、デフレスパイラルに陥ったままのように思えます。今回の国家的危機は古くなった国家の骨格や疲労した制度、さらには21世紀にマッチングしていかないように見える日本経済の体質を変革させる、千載一遇のチャンスなのかもしれません。文字通り、災い転じて福と為す。ピンチをチャンスに変えて、日本は復興するだけでなく、再生と進化を果たし大きく飛翔するのではないのでしょうか。

平成23年3月27日

市立角館総合病院

副院長 鈴木 一正